

電子メールソフトのセキュリティ設定について

第 7 分冊

- Windows Live Mail の設定

一般社団法人 JPCERT コーディネーションセンター
2011 年 2 月 1 日

本資料は、一般社団法人 JPCERT コーディネーションセンターのウェブサイトにて公開している「電子メールのセキュリティ設定」をPDFファイルにまとめたものです。最新の情報に関しては、以下の URL を参照してください。

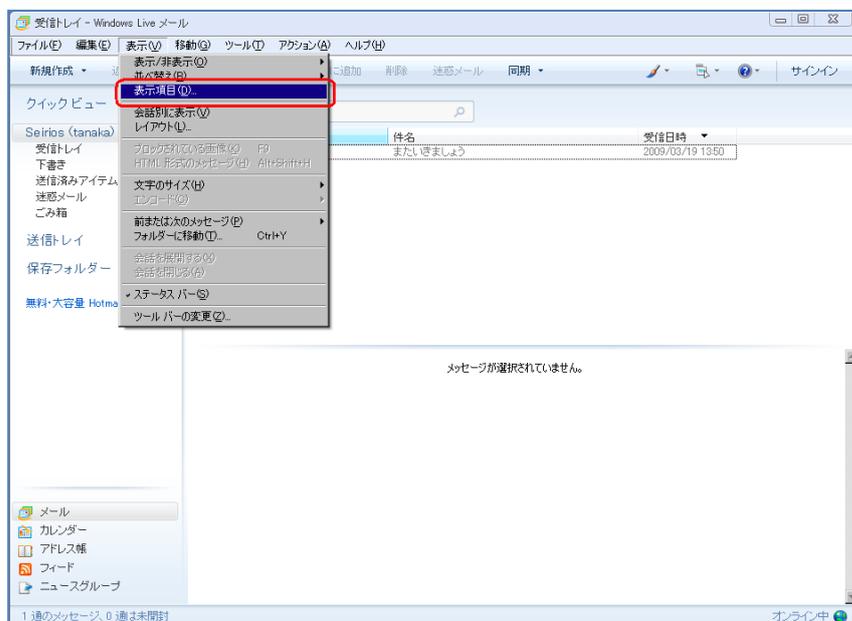
一般社団法人 JPCERT コーディネーションセンター
電子メールソフトのセキュリティ設定について
<https://www.jpcert.or.jp/magazine/security/mail/index.html>

4.6 Windows Live Mail の設定

4.6.1 各設定

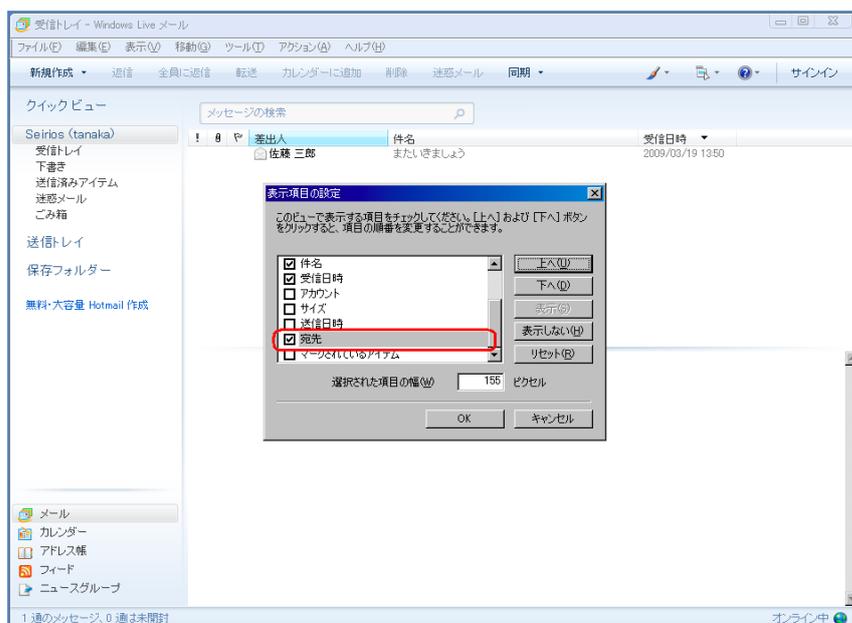
受信メール一覧で表示される情報の拡張

- メニューの「表示」から「表示項目の設定」を選択する。



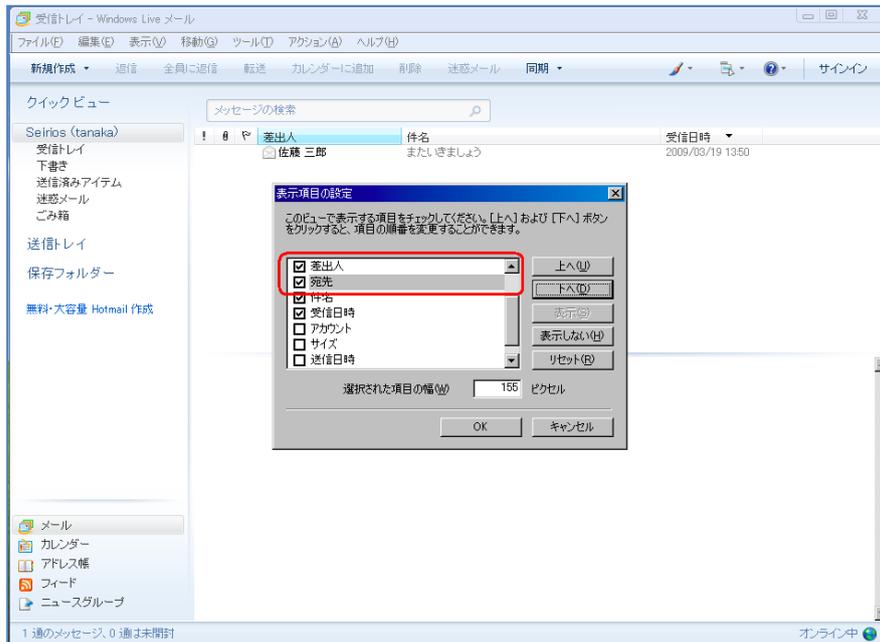
※この画像は Windows Live Mail Version 2009 (Build 14.0.8089.0726) で取得しています。

- 「表示項目の設定」ウインドウの「宛先」のチェックを有効にする。



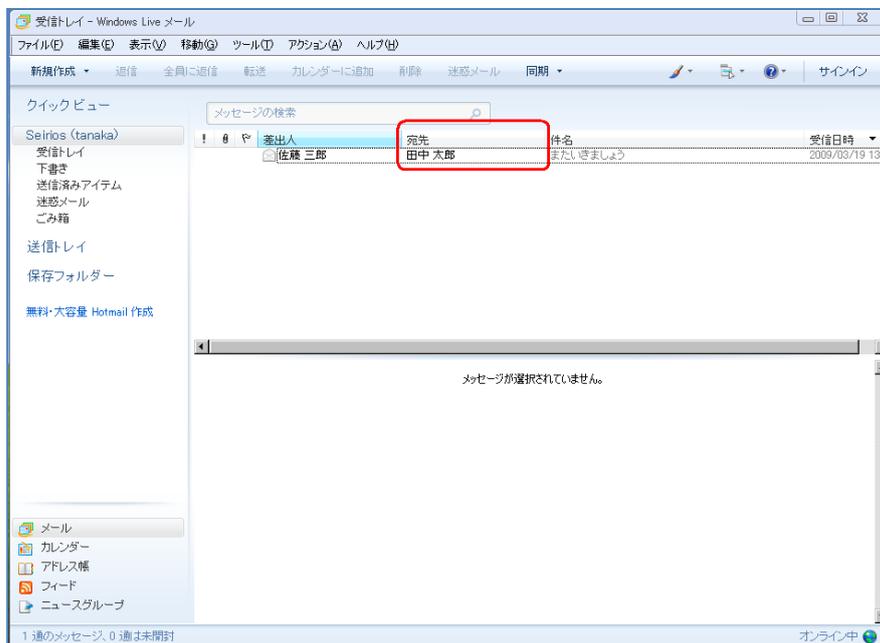
※この画像は Windows Live Mail Version 2009 (Build 14.0.8089.0726) で取得しています。

- 「宛先」を「差出人」の下部に移動する。



※この画像は Windows Live Mail Version 2009 (Build 14.0.8089.0726) で取得しています。

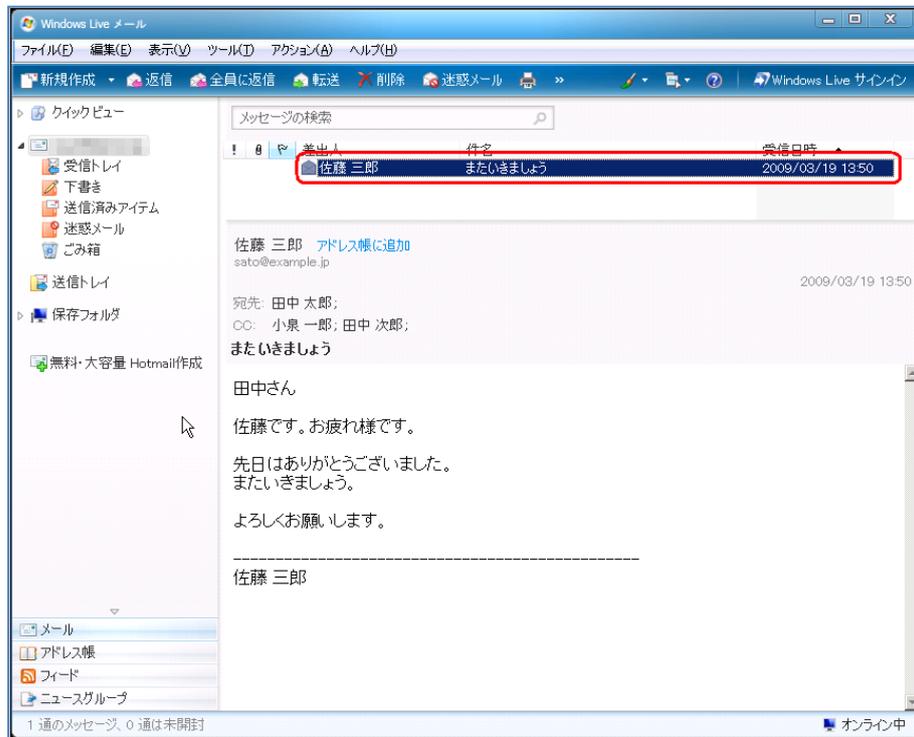
- 表示項目に「宛先」が追加される。



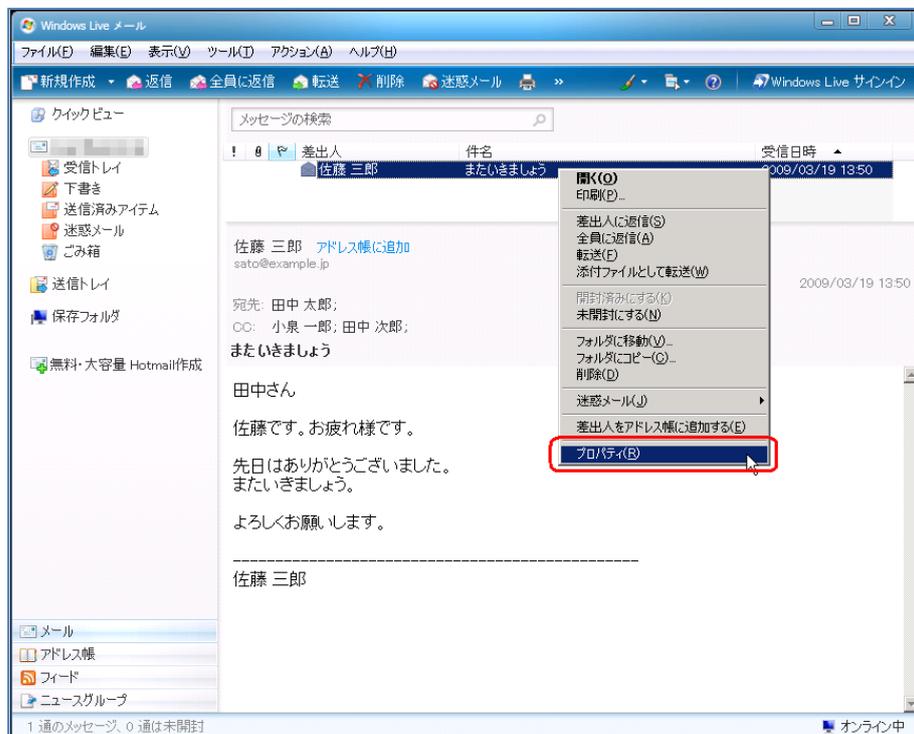
※この画像は Windows Live Mail Version 2009 (Build 14.0.8089.0726) で取得しています。

メールヘッダ情報の確認方法

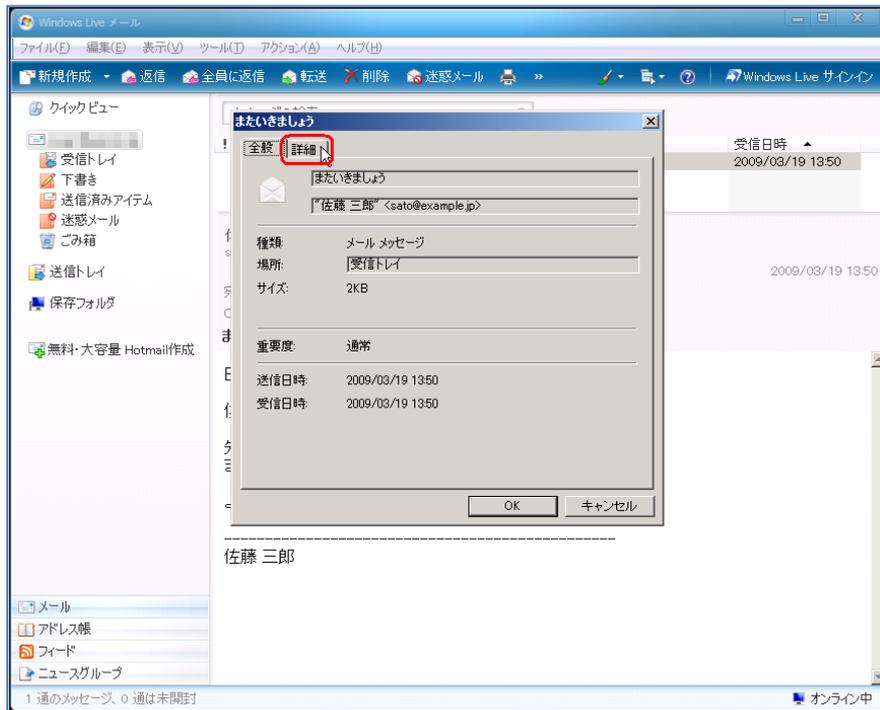
- メールを選択する。



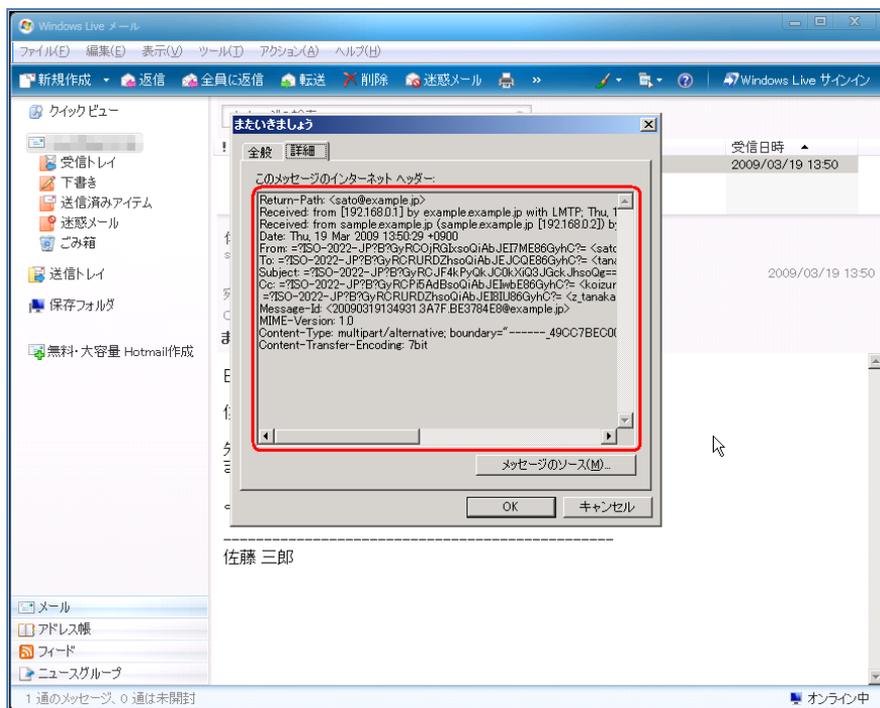
- 右クリックし、「プロパティ」を選択する。



- Subject(件名)ウインドウの「詳細」タブを選択する。



- 「このメッセージのインターネットヘッダ」にヘッダが表示される。

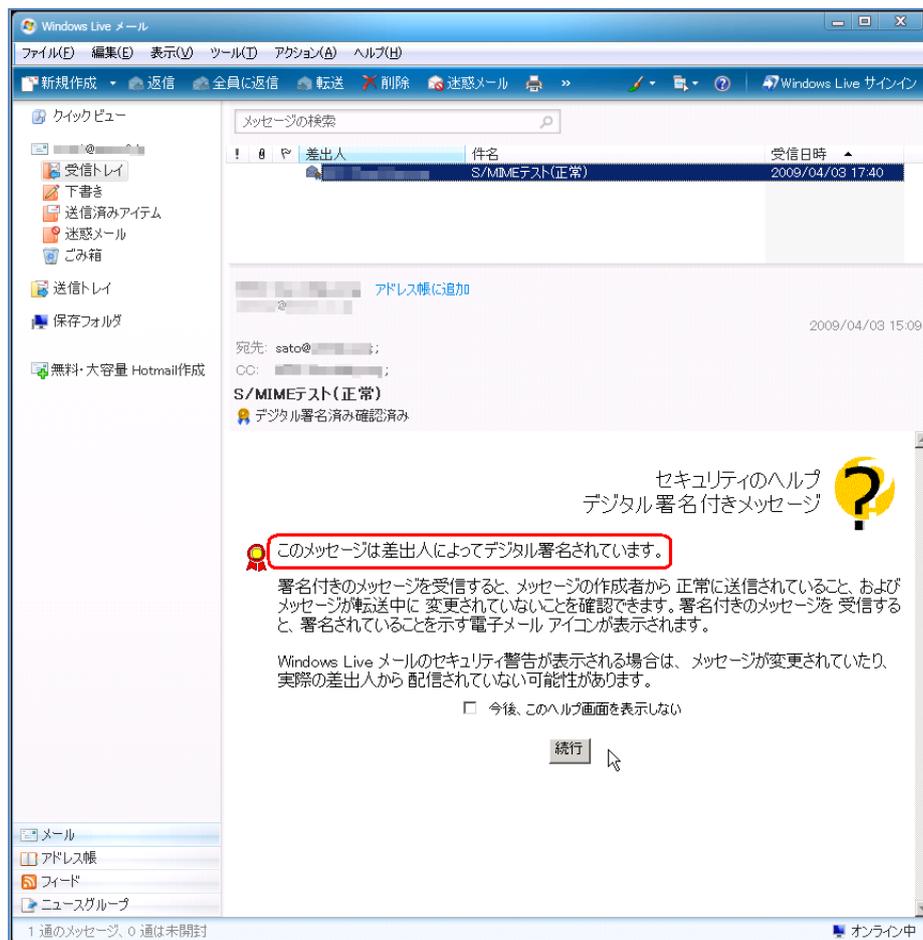


メールアドレスの表示形式の設定

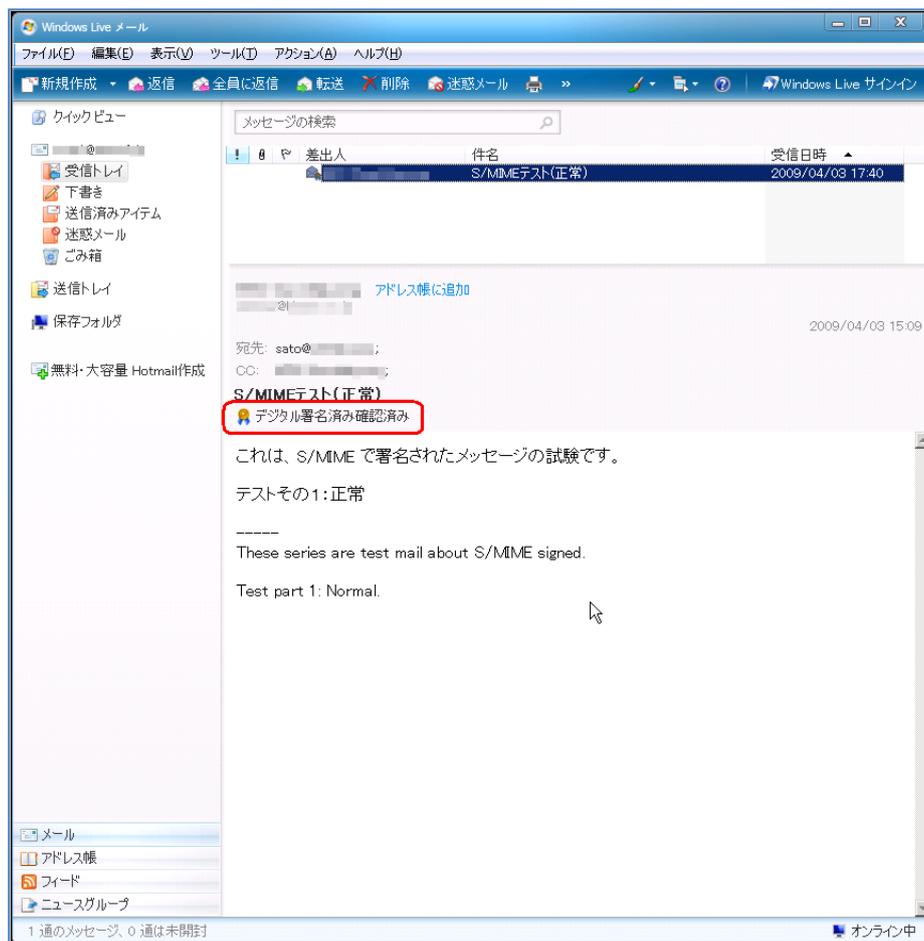
Microsoft Windows Live Mail のメールアドレスの表示形式は、標準で「表示名」と「メールアドレス」の両方を表示します。特別な設定は必要ありません。

S/MIME による署名メールの表示例

- S/MIME で署名されたメッセージが問題なく検証された場合
 1. デジタル署名されている旨表示される。



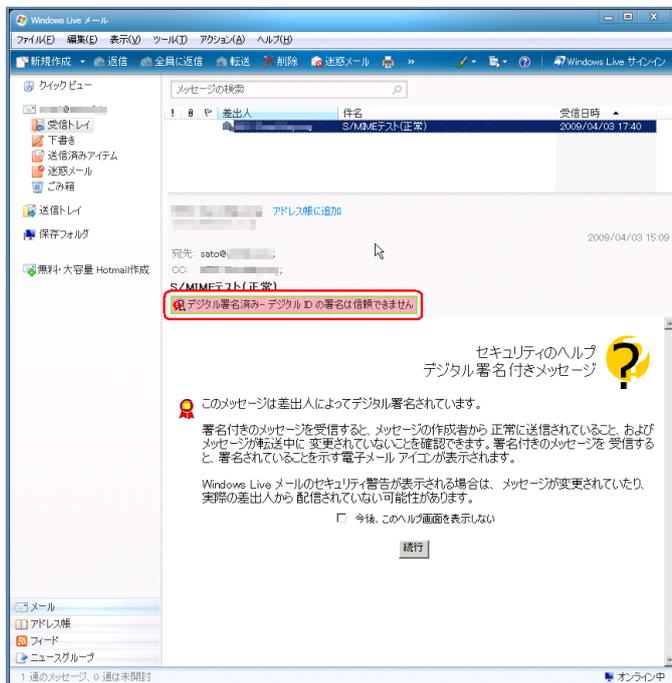
2. 「続行」ボタンを押すと、メール本文が表示される。
デジタル署名が正常な場合、サブジェクトの下部に「デジタル署名済み - 確認済み」と表示される。



● S/MIME で署名されたメッセージの証明書が検証できない場合

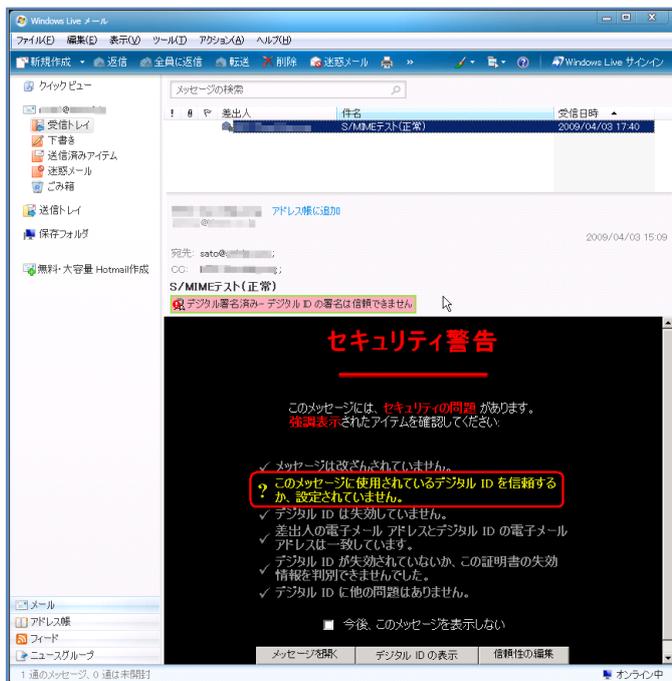
1. デジタル署名されている旨表示される。

証明書を検証出来ない場合、サブジェクトの下部に「デジタル署名済み - デジタル ID の署名は信頼できません」と表示される。



2. 「続行」ボタンを押すと、セキュリティ警告のメッセージが表示される。

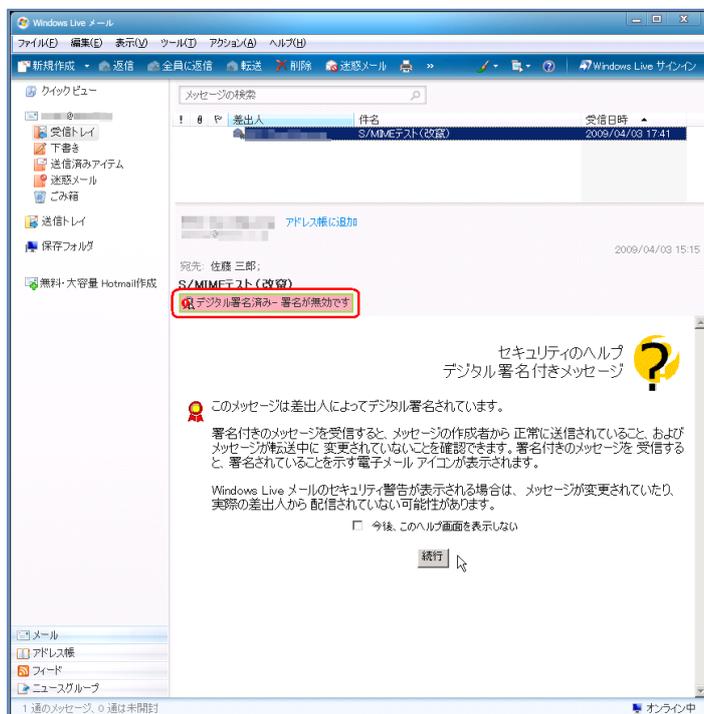
証明書を検証出来ない場合、強調表示されている部分に「このメッセージに使用されているデジタル ID を信頼するか、設定されていません。」と表示される。



- S/MIME で署名されたメッセージが改ざんされている場合

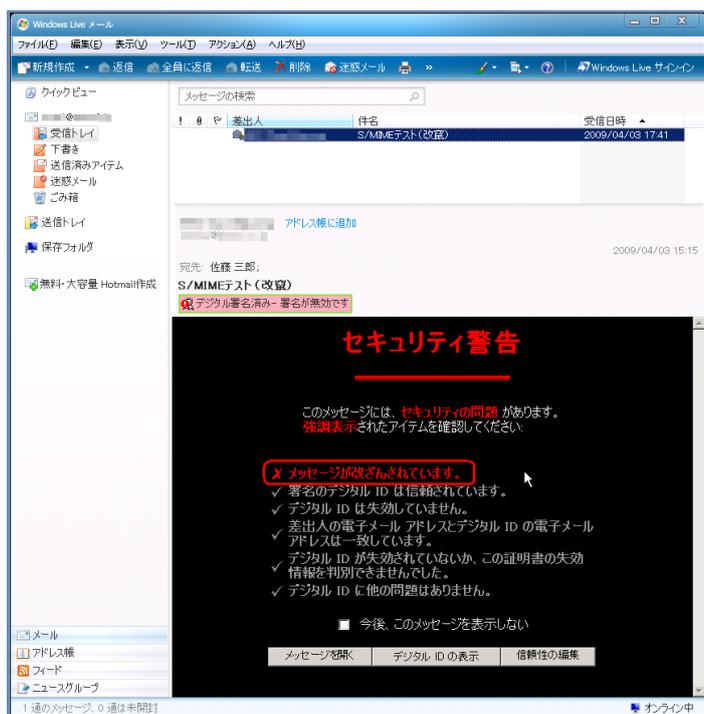
1. デジタル署名されている旨表示される。

メッセージが改ざんされている場合、サブジェクトの下部に「デジタル署名済み - 署名が無効です」と表示される。

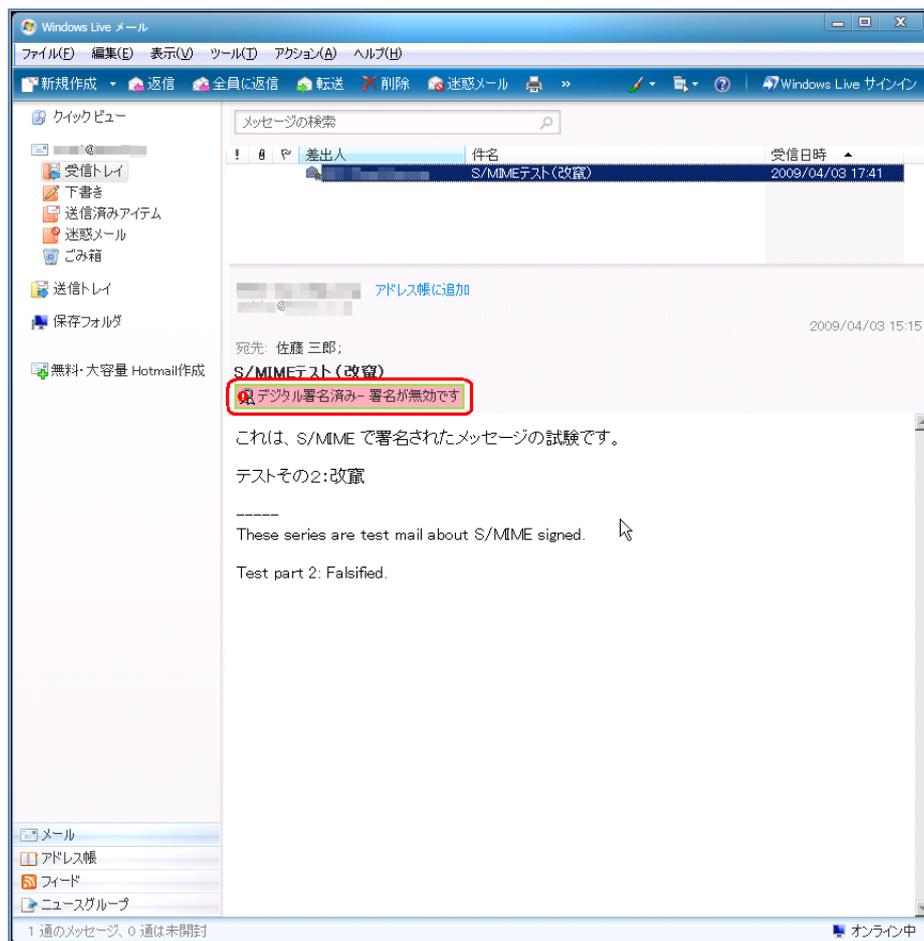


2. 「続行」ボタンを押すと、セキュリティ警告のメッセージが表示される。

メッセージが改ざんされている場合、強調表示されている部分に「メッセージが改竄されています。」と表示される。



3. 「メッセージを開く」を選択すると、メッセージが表示される。
メッセージが改ざんされている場合、サブジェクトの下部に「デジタル署名済み - 署名が無効です」と表示される。

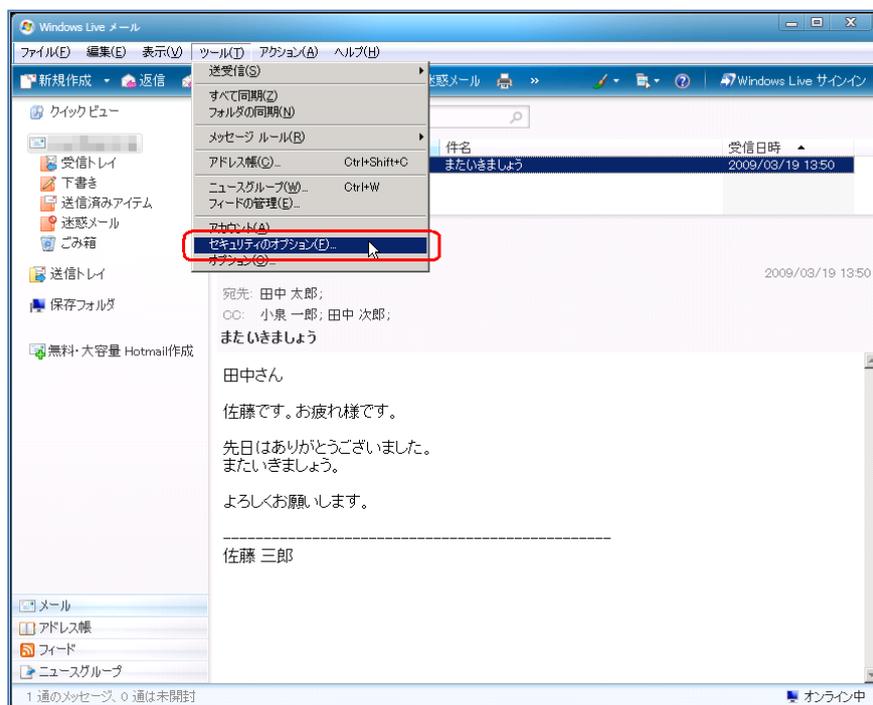


PGP 対応

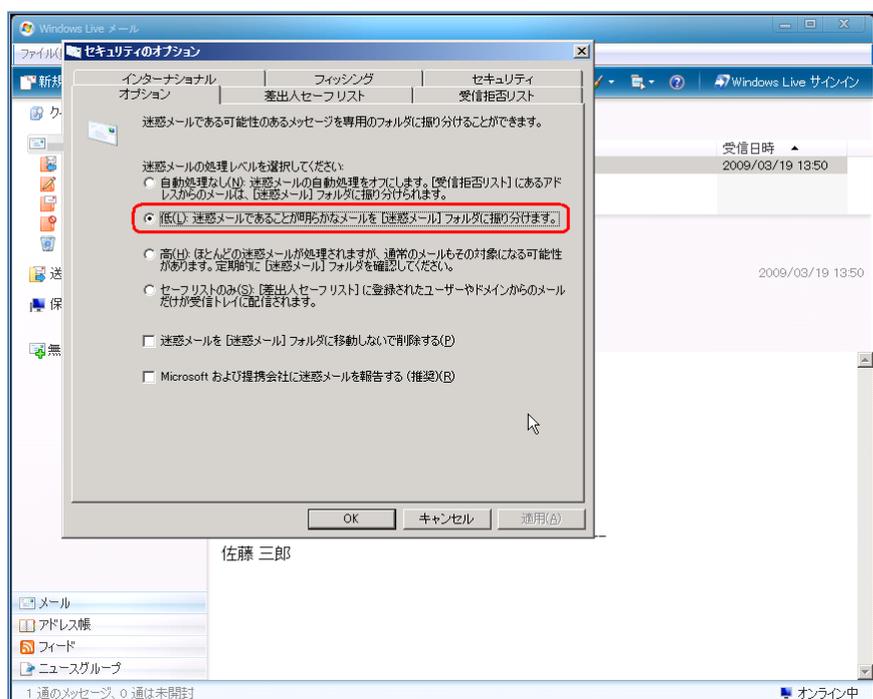
Microsoft Windows Live Mail は、標準で PGP をサポートしていません。

迷惑メールフィルタの設定

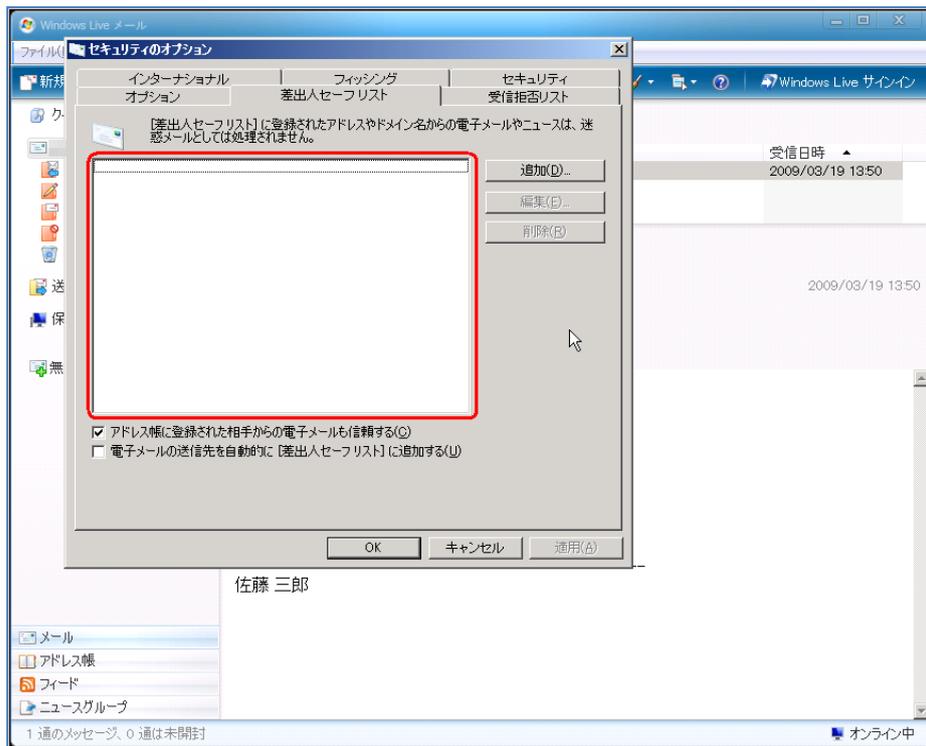
- メニューの「ツール」から「セキュリティのオプション」を選択する。



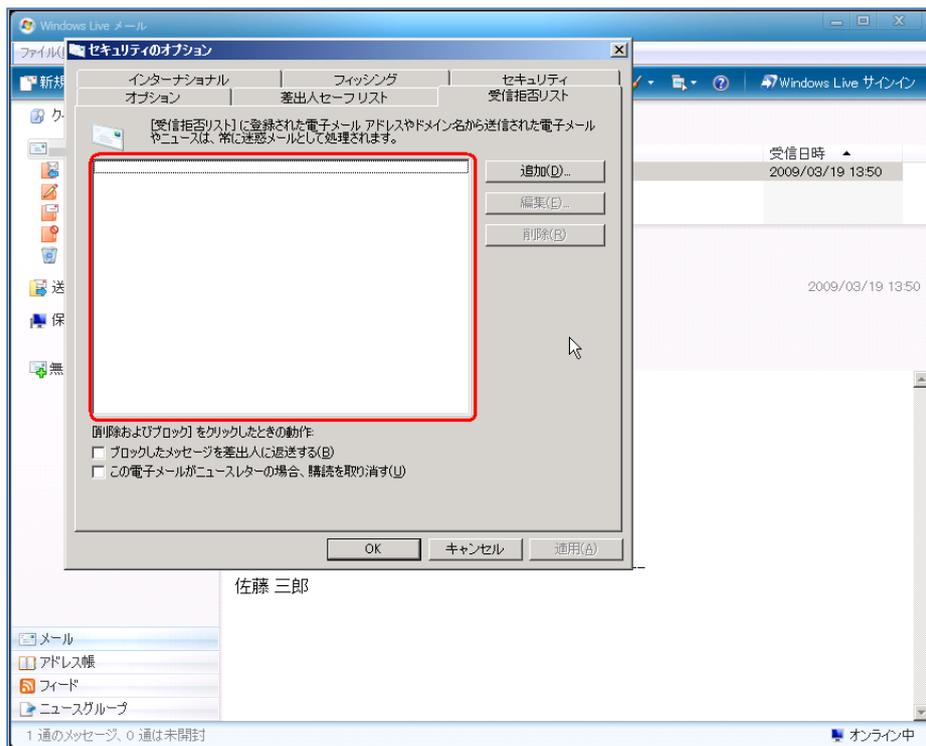
- 「セキュリティのオプション」ウインドウの「オプション」タブを選択する。
必要に応じて、迷惑メールの処理レベルを選択してください。ここでは、「低：迷惑メールであることが明らかなメールを「迷惑メール」フォルダに振り分けます。」を選択。



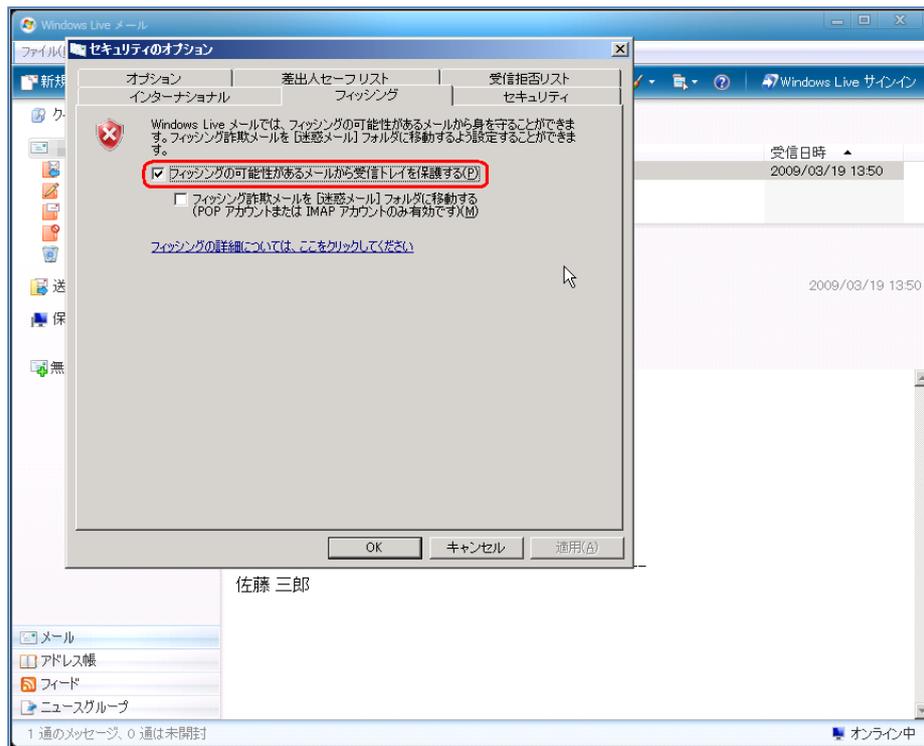
- 「差出人セーフリスト」タブを選択する。
必要に応じて、迷惑メール処理を行わない差出人メールアドレスを登録して下さい。



- 「受信拒否リスト」タブを選択する。
必要に応じて、受信拒否を行うメールアドレスを登録して下さい。

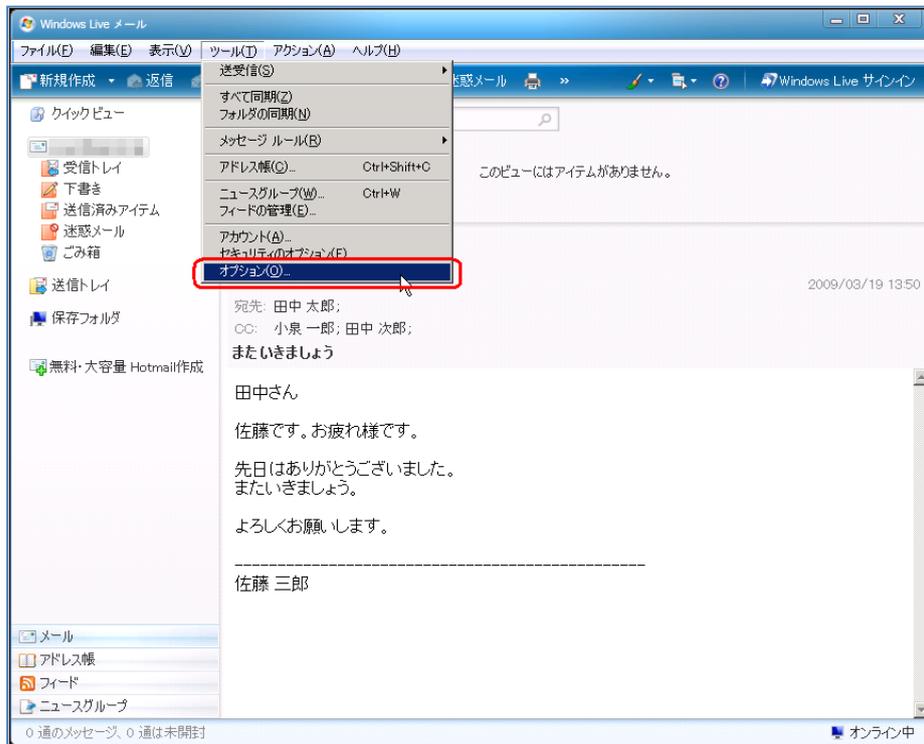


- 「フィッシング」タブを選択する。
「フィッシングの可能性のあるメールから受信トレイを保護する」がチェックされていることを確認して下さい。

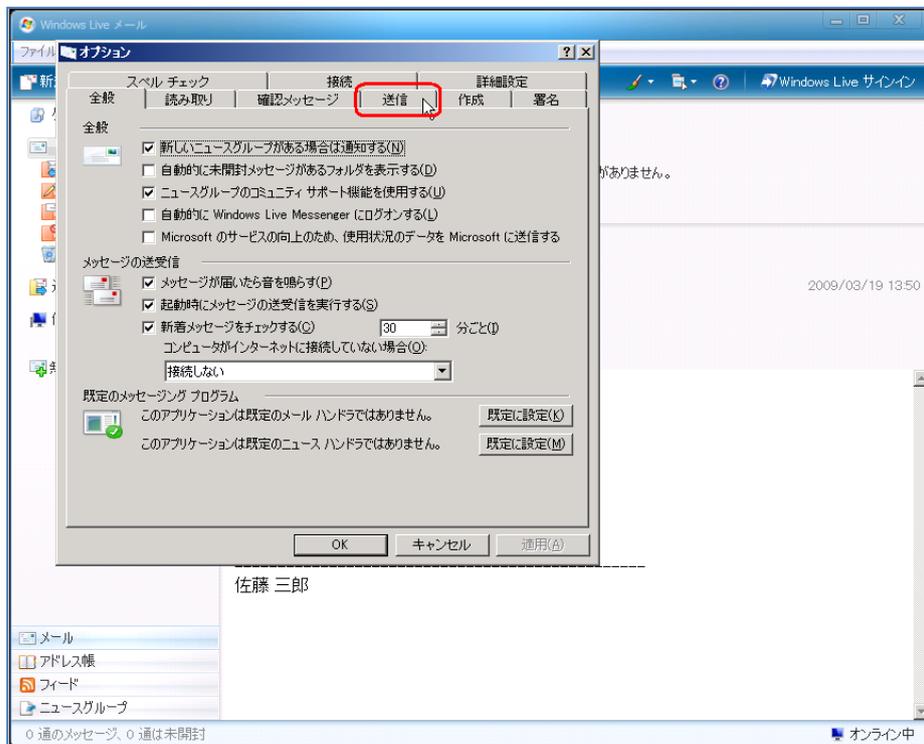


メール送信フォーマットに関する設定

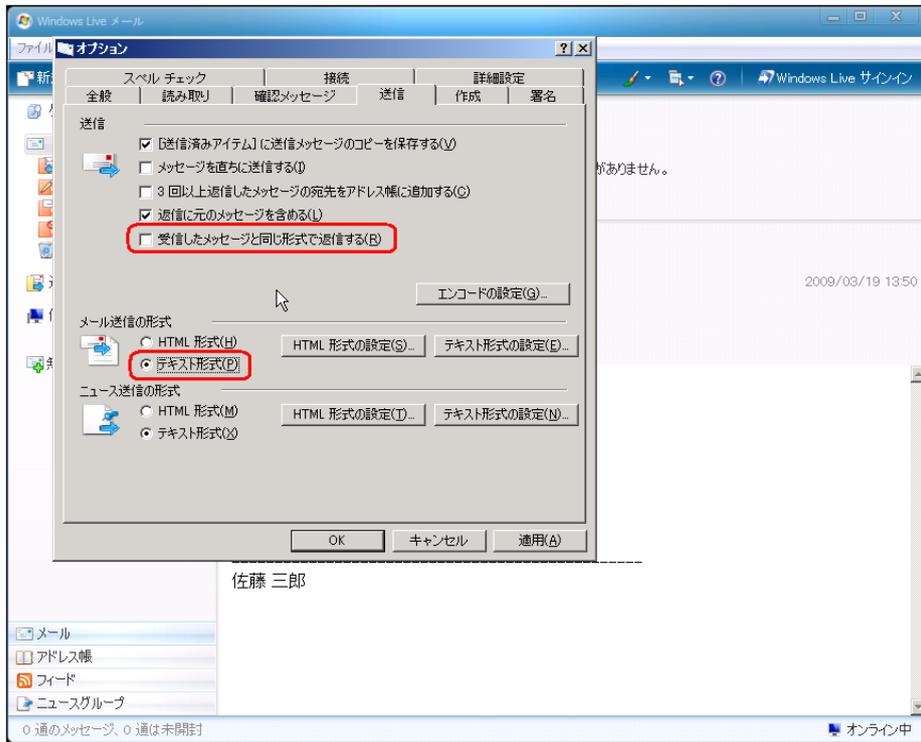
- メニューの「ツール」から「オプション」を選択する。



- 「オプション」ウインドウの「送信」タブを選択する。

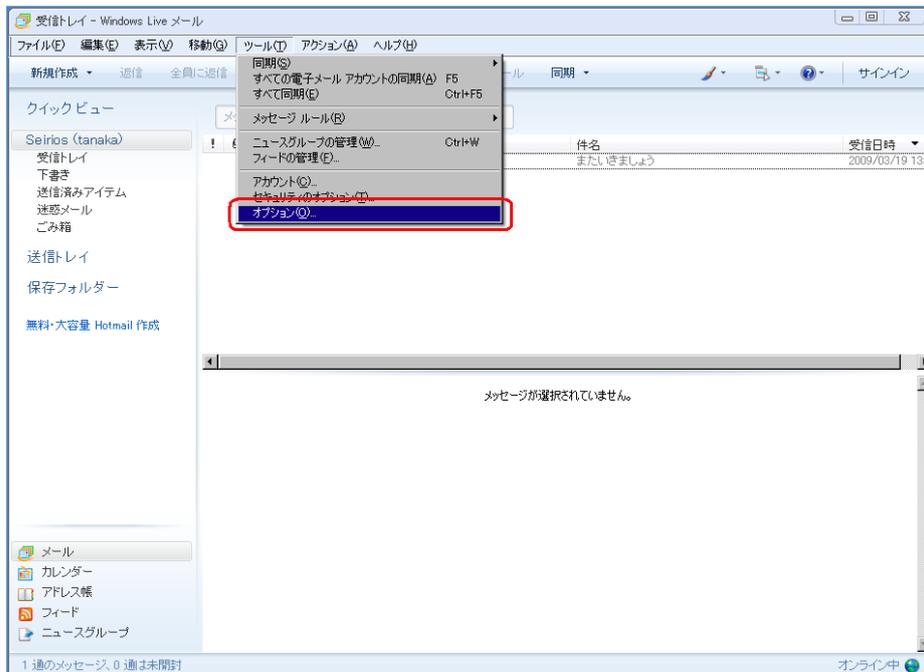


- 「受信したメッセージと同じ形式で返信する」のチェックを外し、「メール送信の形式」を「テキスト形式」にする。



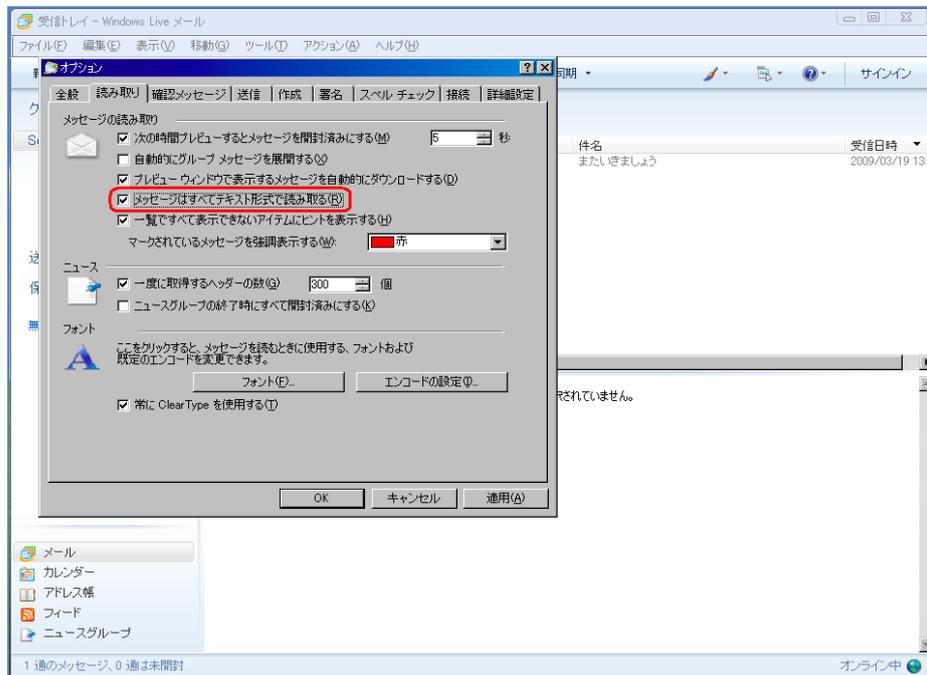
HTMLメールの表示に関する設定

- メニューの「ツール」から「オプション」を選択する。



※この画像は Windows Live Mail Version 2009 (Build 14.0.8089.0726) で取得しています。

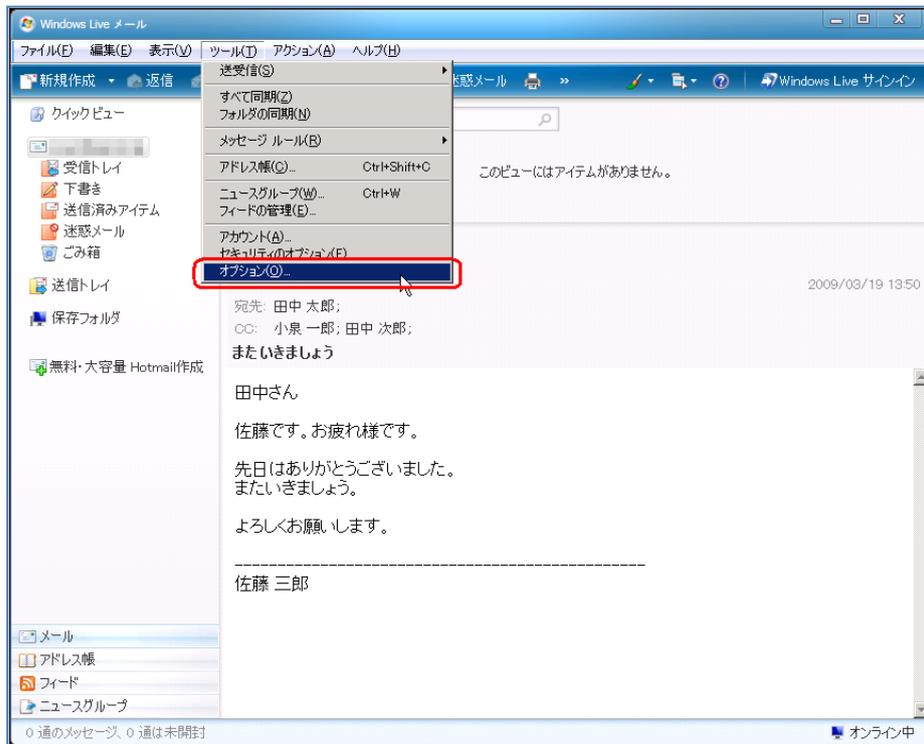
- 「オプション」ウインドウの「読み取り」タブを選択し、「メッセージはすべてテキスト形式で読み取る」のチェックを有効にする。



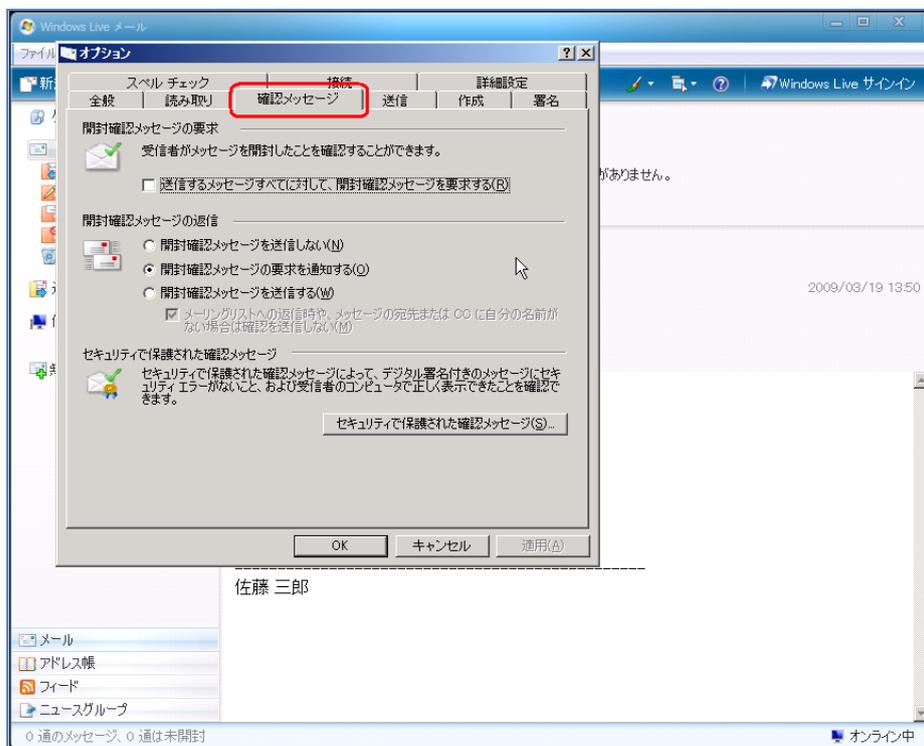
※この画像は Windows Live Mail Version 2009 (Build 14.0.8089.0726) で取得しています。

開封確認機能に関する設定

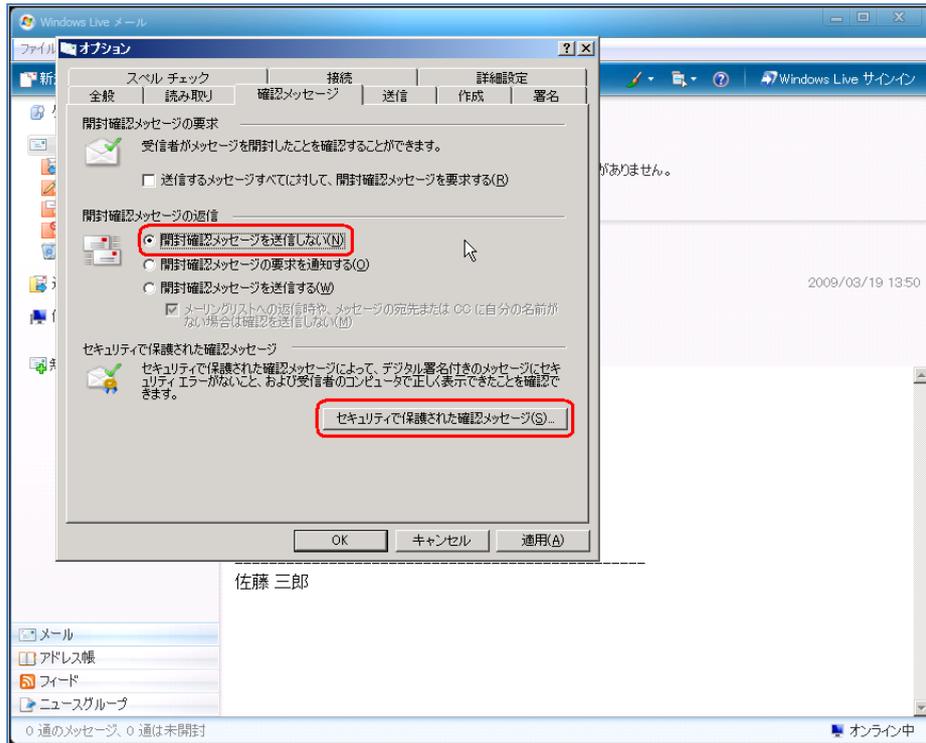
- メニューの「ツール」から「オプション」を選択する。



- 「オプション」ウインドウの「確認メッセージ」タブを選択する。



- 「開封確認メッセージを送信しない」をチェックし、「セキュリティで保護された確認メッセージ」を選択する。



- 「セキュリティで保護された確認メッセージを送信しない」をチェックする。

